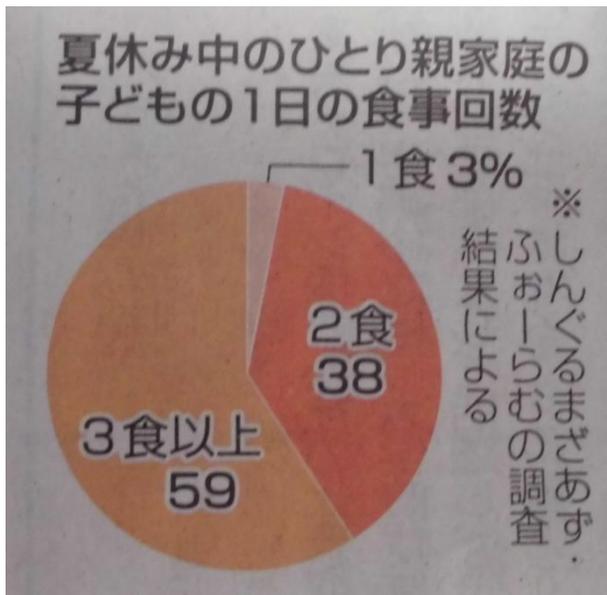


夏休み・子どもの食事回数 **ひとり親の41%「1日2食以下」**



ひとり親家庭の41%が「夏休み中に子どもが1日2食以下で過ごしている」と答えたことが4日、民間団体の調査で分かった。昨年より7割増えた。子どもが貧血になったり、親が1日1食に減らしたりする家庭もあった。

夏休みは給食がなく、光熱費もかかる。物価高が続く中、食費を切り詰めるなど深刻な状況が浮き彫りになった。

NPO法人「しんぐる・まざあず・ふおーらむ」が7月下旬、ひとり親家庭を対象に調査。全国の約3900人が回答し、7割が小中学生のいる家庭だった。全体のうち38%が「1日2食」、3%が「1日1食」で夏休みを過ごしていると回答した。

コメを買えない時が「よくあった」「時々あった」は合わせて66%に上り、昨年の41%より大幅に増えた。

自由記述では“半額になった菓子パンやカップラーメンでしのいでいる」「育ち盛りの子どもの体重が減っているのが目に見えて分かる」といった声が寄せられた。

法人の小森雅子理事長は4日、報告会を開き、「命の危険と言える状況だ。現金やコメの給付など一刻も早く支援してほしい」と訴えた。

(令和7年8月5日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)